

イ 監督の資格を有していない外部指導者の場合

(ア) 監督をしたり、監督席に座ったり、試合場付近に立ち入ったりすることができない。その他の入場については制限しない。

(イ) 申込書の外部指導者名の欄に氏名を記入する。

③ 地域クラブ活動として参加する場合の参加生徒の引率・監督は、それぞれの団体の指導者とする。

(15) 外部指導者(コーチ)の帯同を希望する場合は、四国各県剣道競技部で申し合わせた外部指導者の取扱いについて同意した上で、「第62回四国中学校総合体育大会剣道競技 外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」を各県の申込み期日までに各県事務局に提出する。様式については、高知県中体連ホームページ(<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/kochi-chutairen>)からダウンロードする。

3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 4チームずつのA・B2リーグに分けて予選リーグ戦を行う。
- ② 各予選リーグ戦に各県1位チーム2、2位チーム2を含み、同県チームが入らないように抽選をする。
- ③ 予選リーグ戦終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント戦を行う。
- ④ 試合は3分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 団体戦(予選リーグ戦)順位の判定は勝ち点による。(勝ち:1.0点、引き分け:0.5点、負け:0点)同じ勝ち点の場合は、勝者数、総本数の順で決定する。
- ⑥ リーグ戦1位が3チームまたは4チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。リーグ戦2位が3チームの場合も同様とする。
- ⑦ リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。リーグ戦2位が2チームの場合も同様とする。
- ⑧ 決勝トーナメント戦の勝敗は、勝者数、ついで総本数によって決定する。
- ⑨ 決勝トーナメント戦において、チームの勝敗が決しないときは、任意の代表者による代表者戦を1本勝負で行う。試合時間は3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で行う。
- ② 試合は3分3本勝負、勝敗の決しない場合は、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

(3) 延長戦

個人戦および団体戦代表者戦の延長戦は、2分ずつ区切って行う。

- ・試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩(面を外して給水)】
※上記を繰り返す。

【小休止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。

【休憩】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は5分とする。